

|     |                 |      |      |      |     |
|-----|-----------------|------|------|------|-----|
| 科目  | ゼミナール I (E)     | 担当   | 盧 聡明 | 履修学年 | 3年  |
| 時間数 | 90分×時限×16回(週1回) | 履修区分 | 必修   | 単位数  | 2単位 |

**【授業目標・到達目標】**

国際市場で事業展開を行うベンチャービジネスやグローバルマネジメントに関する実務的かつ専門的な知識や能力の習得をめざし、経営学における学際的な探求を通じて、それによって個人に創造的な理解力や知識を身につけてもらいたい。また、ゼミでのディスカッションや発表を通じて、個人のプレゼンテーション能力も向上してほしい。

**【履修注意】**

課題の提出などはレポートシステムを利用することがあるので、使い方など事前に修得しておくこと。ゼミの概要については、「日経ビジネス アカデミック・サポート・プログラム」の盧研究室紹介 (<http://blog.nikkeibp.co.jp/nb/academic/university/20081226-1440.html>)を参照してほしい。日頃、経済紙や専門・情報誌を読む習慣を身に付けて、時代の流れ、市場動向、海外情勢を知り、そして経営問題解決のキー・ワードを見出すように心掛けること。

**【評価方法】**

研究調査やプレゼンテーションの内容を評価し、学則に基づき最終成績を付ける。

**【試験について】**

実施しない。再試験は行わない。

**【予習・復習】**

予め決められた研究調査テーマの関連素材の検索と資料集めなど、を週一回一時間以上予習しておくこと。講義後も現場のディスカッション結果やコメントを参考して、発表内容の復習や修正を行い、理解を深めること。

**【教科書】**

購入教科書なし。教員が編集するパワーポイント資料などを利用する。

**【参考書】**

書籍名：『ベンチャー企業論』 著者：柳孝一・藤川彰一著 出版社：放送大学  
別途、卒論計画書に応じて、参考文献を指示することがある。

**【その他の注意事項】**

**【授業計画・内容】**

| 回数 | 項目            | 内容                           |
|----|---------------|------------------------------|
| 1  | オリエンテーション①    | 学事日程確認、履修チェック、ミニインタビュー、幹事選出  |
| 2  | オリエンテーション②    | 個人時間割表、自己PR表、IPA(ネットセキュリティ)  |
| 3  | 研究調査の方法と論文の作成 | 学術情報検索システム、文献検索、卒論の執筆について    |
| 4  | 研究調査の範疇について   | 国際・起業・ベンチャービジネスの研究領域、レジュメの作成 |
| 5  | 進路管理          | 就職管理表、起業力・就職準備状況調査、ポートフォリオ管理 |
| 6  | 研究調査の実施にあたって  | プレゼン資料の作成要領、評価表、ディスカッション方法   |
| 7  | 研究調査報告①       | プレゼンテーション、質疑応答・ディスカッション、相互評価 |
| 8  | 研究調査報告②       | プレゼンテーション、質疑応答・ディスカッション、相互評価 |
| 9  | 研究調査報告③       | プレゼンテーション、質疑応答・ディスカッション、相互評価 |
| 10 | 研究調査報告④       | プレゼンテーション、質疑応答・ディスカッション、相互評価 |
| 11 | 研究調査報告⑤       | プレゼンテーション、質疑応答・ディスカッション、相互評価 |
| 12 | 研究調査報告⑥       | プレゼンテーション、質疑応答・ディスカッション、相互評価 |
| 13 | 研究調査報告⑦       | プレゼンテーション、質疑応答・ディスカッション、相互評価 |
| 14 | 研究調査報告⑧       | プレゼンテーション、質疑応答・ディスカッション、相互評価 |
| 15 | 研究調査報告⑨       | プレゼンテーション、質疑応答・ディスカッション、相互評価 |
| 16 | 総括とまとめ        | 相互評価表の提出、夏休みレポート課題の確定、総合評価。  |